

熊本県伝統工芸館 指定管理者 平成 29 年度 管理運営評価票

商工観光労働部観光物産課

**施設の管理概要**

指定管理者名	一般財団法人熊本県伝統工芸館	
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 33 年 3 月 31 日	
施設概要	設置目的	本県の伝統的工芸品産業の振興及び発展を図る
	施設区分	伝統的工芸品等の展示・販売施設 名称：熊本県伝統工芸館 施設規模：敷地面積4,094㎡ 鉄筋コンクリート造（地上2階、地下1階）
指定管理料	80,587,047円	

**管理運営の評価**

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
年間総入館者数	150,000人	155,532人	
販売売上	48,500千円	46,725千円	
【点検・調査結果及び評価】 入館者数は、目標値を約5千人上回り、目標値の103.7%であった。 販売売上は目標達成に至らず、目標値の96.3%であったものの、伝統工芸品の良さがつ 伝わる展示の工夫や、需要に応じた商品展開の工夫などにより、昨年度の実績に比べ1割程度 増加した。			

2 管理業務実施状況

施設維持管理業務実績

作業項目	実施日	内容
清掃	(日常)	通年 仕様書及び事業計画のとおり実施
	(定期)	年1~3回 仕様書及び事業計画のとおり実施
保守・点検	(日常)	通年 仕様書及び事業計画のとおり実施
	(定期)	年2~6回 仕様書及び事業計画のとおり実施
保安・警備	適宜	仕様書及び事業計画のとおり実施
施設維持管理	適宜	仕様書及び事業計画のとおり実施

【点検・調査結果及び評価】  
事業計画のとおり実施されており、適正な運営がなされている。

運営事業実績

【主な事業・イベント】

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内容
常設展示室業務(常設展示室内での企画展示)			
第34回日本伝統漆芸展	4/4~5/7	1,060人	日本工芸協会との共催事業 日本を代表する漆芸作品の展示
九州の郷土玩具と世界の木の 人形店	5/16~7/2	1,527人	伝統工芸館が収蔵する九州各県 の郷土玩具の展示

加賀象嵌と肥後象がん～小空間に広がる無限の世界～	7/11～9/24	2,009人	石川県立伝統産業工芸館との象眼を中心とした交流展
熊本の陶磁器を楽しむ	10/3～1/14	2,892人	伝統工芸館が収蔵する熊本の陶磁器の展示
肥薩の炎と土展	1/23～3/18	1,455人	鹿児島と熊本の陶芸家の初の交流展
企画展示室業務(1階展示室における企画展示会)			
<公募展>			
第35回くらしの工芸展2017	10/31～11/5	1,384人	「くらし」をテーマに県内外から作品を公募し、入賞・入選作品を展示・販売。
<産地育成等をテーマとした展示会>			
熊本国際民藝館復興支援展	5/2～5/7	1,374人	熊本地震で被災した熊本国際民藝館を支援する展示
涼の工芸展	7/11～7/17	1,225人	伝統工芸館友の会との共催事業 全国の工芸品を展示販売
くまもと工芸夏まつり	8/4～8/6	294人	熊本県伝統工芸協会との共催事業 家族で体験できる工芸教室の開
いしかわの新鋭作家展	8/15～8/20	749人	石川県との交流展 若手新鋭作家の作品を展示販売
東北の工芸支援展	11/7～11/12	1,393人	東日本大震災で被災した工芸産地を支援する復興支援展
鹿児島・熊本 陶芸交流展	1/23～2/4	697人	鹿児島の陶芸家13窯による小品の展示販売
暖の工芸展	2/14～2/18	648人	伝統工芸友の会との共催事業 全国の工芸品を展示販売
【点検・調査結果及び評価】 伝統工芸品の展示を中心とした展示販売会や工芸教室等の開催を行うとともに、タイムリーな情報発信を行い集客に努めるなど、適正な運営がなされている。			

### 3 利用状況

施設名	年計		前年度計	前年度比
	開館日数	年計		
2階常設展示室	開館日数	356	341	104.4
	利用日数	280	260	107.7
	入場者数	9,094	6,803	133.7
1階展示室	利用可能日数	356	341	100.2
	利用日数	356	311	114.5
	利用率	100.0	91.2	109.6
	入場者数	39,768	33,804	117.6
工房	利用可能日数	356	341	100.2
	利用日数	226	209	108.1
	利用率	63.5	61.3	103.6
	入場者数	4,152	3,477	119.4
2階展示室A	利用可能日数	356	341	100.2
	利用日数	356	319	111.6
	利用率	100.0	93.5	106.9
	入場者数	23,976	21,314	112.5
2階展示室B	利用可能日数	356	341	100.2
	利用日数	338	318	106.3
	利用率	94.9	93.3	101.8
	入場者数	19,627	19,372	101.3
2階会議室	利用可能日数	356	341	100.2
	利用日数	21	30	70.0
	利用率	5.9	8.8	67.1
	入場者数	344	498	69.1

和室	利用可能日数	356	341	100.2
	利用日数	266	261	101.9
	利用率	74.7	76.5	97.6
	入場者数	14,550	15,281	95.2
地下会議室	利用可能日数	356	341	100.2
	利用日数	147	125	117.6
	利用率	41.3	36.7	112.6
	入場者数	8,953	8,131	110.1
1階ショップ匠	利用日数	305	291	104.8
	入場者数	35,068	31,801	110.3
【点検・調査結果及び評価】 貸展示室は概ね高い利用率で推移しているものの、会議室の利用率が低くなっており、周知を図るなど改善策を検討する必要がある。				

施設入場料や使用料が無料等により、入場(利用者)数が把握できない場合は、「入場者数」欄を削除する等、施設の利用形態に応じて適宜様式は変更すること。

#### 4 管理経費の収支状況

収入		内 訳	金額(円)	
利用料金収入	常設展示室	観覧料	1,082,750	
	各展示室・会議室	使用料	7,844,840	
指定管理料		県受託金	80,587,047	
運営事業等収入		広告料負担金等	801,649	
販売手数料収入		ショップ・ネットショップ販売手数料	13,667,324	
合 計			103,983,610	
			収入未済額	0
			うち利用料金収入分	0

支出		内 訳	金額(円)
事業費	人件費・消耗品費・光熱水費・修繕費・租税公課等		100,490,255
管理費	役員報酬等		1,171,347
合計			101,661,602
【点検・調査結果及び評価】 本県の伝統的工芸品の発展及び振興のため、企画展の開催や、需要開拓のためのショップ運営、工芸品産地支援などの事業に取り組んでおり、管理運営費は適正に処理されている。			

#### 5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成29年4月～平成30年3月											
	調査方法	アンケート調査(来場者)											
	調査対象数	632件											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		とてもよい	よい	普通	あまりよくない	悪い	わからない						
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
	職員対応状況	145	23	285	45	171	27	6	1	0	0	25	4
ショップの品揃え	228	36	259	41	114	18	6	1	0	0	25	4	
利用者からの意見等		・駐車場が狭い。(多数) ・休憩コーナーがあり、ほっとする。											
【調査結果及び評価】 アンケートの結果は7割程度が良いと感じており、概ね良いサービスが提供できていると考えられる。 駐車場が狭いという御意見についても、必要に応じて誘導員を配置するなど適切に対応している。													

実際の調査項目に応じて、適宜様式を変更すること。

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特になし	
【調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘した事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
なし	
【調査結果及び評価】	

8 その他

<p>熊本地震の影響が改善してきており、前年度に比べ入館者や売上が回復傾向となった。            展示企画や産地育成への取組に加え、外国人観光客の来館者の増加に伴い、サイン整備や多言語化パンフレットを作成するなど、伝統工芸品産業の振興を図った。</p>
---